

# 道の駅「田野駅屋」再整備事業官民連携アドバイザー業務 評価基準

## 1 基本方針

本評価基準は、公募型プロポーザル実施要項に基づき、参加者の企画提案、実施体制、実績、工程、価格等を総合的に評価するために定めるものである。

本業務は、DBO 方式による事業者募集、選定及び契約締結を支援する専門性の高い業務であるため、価格のみではなく、業務理解、DBO 方式及び PFI 法水準の手続理解、要求水準書・評価基準・契約書案等の作成能力、実施体制及び履行確実性を重視する。

## 2 評価項目

評価項目	主な評価視点
1 業務理解度	本業務の目的、対象範囲及び DBO 方式による事業者募集・選定支援業務の性質を理解しているか。また、本実施要項、仕様書、評価基準、様式及び町が公表している資料（田野町道の駅再整備に係る基本計画）に基づき、本業務において整理すべき事項を的確に把握しているか。
2 DBO 方式及び PFI 法水準の理解	DBO 方式を前提に、PFI 法に基づく手続と同等水準の透明性、公平性、競争性、客観性を確保する提案となっているか。
3 要求水準書・評価基準等の作成能力	要求水準書、評価基準、募集要項、様式集、審査基準等の作成方針が具体的か。
4 契約書案・リスク分担表等の作成能力	事業契約書案、基本協定書案、リスク分担表、契約交渉支援に関する実務能力が確認できるか。
5 事業者選定・競争的対話・審査支援能力	選定委員会運営、資格審査、提案審査、競争的対話、審査講評案作成を適切に支援できるか。
6 実施体制・役割分担	管理技術者、担当者、法務・財務・官民連携担当、協力事業者の役割分担と責任関係が明確か。
7 工程管理・迅速性	令和 8 年 6 月以降、迅速に業務を開始し、事業全体の進行に支障を来さない工程が示されているか。
8 情報開示・説明責任への対応	審査結果、議会説明、住民説明、情報開示を意識した資料作成・記録化の方針が示されているか。
9 見積価格	提案内容、実施体制、業務量に照らし、見積りされているか。

### 3 順位決定

- (1) 各委員の採点結果を集計し、最高得点者を受託候補者とする。
- (2) 最高得点者が複数ある場合は、「業務理解度」の得点が高い者を上位とする。
- (3) 前号によっても順位が決定しない場合は、「実施体制・役割分担」の得点が高い者を上位とする。
- (4) それでも順位が決定しない場合は、審査委員会の協議により決定する。
- (5) 最低基準点は満点の6割を目安とし、審査委員会が必要と認める場合は、受託候補者を選定しないことができる。